

[ホーム](#)[暮らし](#)[観光・レジャー](#)[ビジネス・産業](#)[愛知県政](#)[ホーム](#) [観光・レジャー](#) [文化芸術の振興](#) [文化財](#) [お知らせ](#)[印刷用ページを開く](#)

2011年度 発掘調査速報

[2010年5月21日]

平成23年度の調査について

日ごろより愛知県埋蔵文化財調査センターの活動にご理解、ご協力をいただきましてありがとうございます。

今年度の調査について、お知らせしていきます。

2月14日 南川遺跡の調査が終了しました



南川遺跡の全体写真です



南川遺跡で出土した縄文土器（押型文土器）です



南川遺跡で出土した黒曜石です

日ごろより愛知県埋蔵文化財調査センターの活動にご協力いただきましてありがとうございます。

豊田・岡崎地区研究施設用地造成事業に伴い、豊田市花沢町の南川遺跡で実施しておりました発掘調査が終了しましたので報告します。

本遺跡は郡界川と土々目木川の合流地点のすぐ北側に位置し、2つの川の影響を大きく受けてきたと考えられます。調査は2011年10月より開始し、調査前の現況は水田となっていました。遺跡としての構造は、上層・下層の2層にわかれ、上層では安土桃山～江戸時代初期の陶器、柱穴、土坑が見つっています。下層では縄文時代早期～縄文時代後期の土器・石器、溝が見つかりました。特に下層の溝（自然流路の可能性もあります）からは縄文時代早期の土器が出土し、それ以降の時代の土器は混入しないことから、溝は縄文時代早期の内に埋没したようです。

石器の材質は、黒曜石（長野産）・サヌカイト・下呂石（岐阜産）・チャート・凝灰岩・安山岩と多岐にわたります。これらの石材の産出地は様々で、南川遺跡の人々が広い範囲で交流をもっていたことがわかります。

今回の調査では各時代を通じて建物跡は確認できませんでした。しかし、縄文土器の表面はあまり磨耗しておらず、遺跡の近くで居住（キャンプのような短期間の居住も含む）していたことは十分に考えられます。また、安土桃山～江戸時代の遺物には天目茶碗や煮炊きをする土師質の土器が含まれており、遺跡近隣で居住していた可能性は高いものと考えられます。

南川遺跡の発掘調査は下山地区における初の本格的な発掘調査でしたが、予想を上回る遺物の出土量があり、この地域で先人たちの活発な活動が行われてきた重要な手がかりを得ることができました。今後も予定されている下山地区での発掘調査で、あらたなことが判明していくと思われます。

1月14日 南川遺跡で説明会をおこないました



説明会に多くの方がいらっしゃいました。



皆さん熱心に説明を聞かれていました。



遺物の展示も熱心に見学されました。

1月14日、南川遺跡で説明会を行いました。当日は天気にも恵まれ、60人ほどの方が参加されました。まず、企業庁による事業説明があり、調査員による解説、現場の見学と続き、発掘された遺物の展示も行いました。遺跡や遺物に関して多くの質問が出されるなど、活気にあふれた会となりました。遺物の展示では、材質が何種類もある石器が皆さんの関心を引いたようで、大変多くの質問をいただきました。特に、小学生の女の子でしょうか、黒曜石に強く関心を持ったようで、興味深そうに何度も触っていたのが印象的でした。

今後もこのように調査の成果を報告しながら、多くの方々に関心を持っていただけるようにしていきたいと思えます。

1月14日 南川遺跡の地元説明会を行います。

あけましておめでとうございます。本年もよろしくおねがいいたします。

1月14日に豊田市花沢町の南川遺跡で地元説明会を行います。詳しくは下で掲載している案内に記載されておりますのでご覧ください。

多くの方のご来場をお待ちしております。

南川遺跡の地元説明会を行います。



[地元説明会案内 \(ファイル名:minamikawasetumei.pdf サイズ:989.67 KB\)](#)

南川遺跡の地元説明会案内をPDFファイルで掲載しております。



PDFファイルの閲覧には Adobe Reader が必要です。同ソフトがインストー

ルされていない場合には、[Adobe社のサイトから Adobe Reader をダウンロード（無償）してください。](#)

南川遺跡の調査が順調に進んでいます

南川遺跡調査速報

いつも愛知県埋蔵文化財調査センターの活動にご理解とご協力をいただきましてありがとうございます。

豊田市花沢町で行っている南川遺跡の発掘調査も折り返し点にさしかかりました。

これまでの発掘調査成果としては、中世後期（約500年前）の柵列跡が検出できたことや、縄文時代の土器や石器の破片（約3000年～8000年前）が多数見つかったことが挙げられます。

特筆すべきは、押型文とよばれる文様のついた縄文時代早期（約8000年前）の土器破片が見られること。また、石器の材質は、凝灰岩、黒曜石、サヌカイト、下呂石等のバラエティに富んでいます。

これからいよいよ調査も後半に入りますが、さらに多くの遺構・遺物の出土が予想されます。今後の調査にもご期待ください。

南川遺跡の調査がはじまりました（10月11日）

豊田市花沢町の南川遺跡の調査が始まりました。国道301号線沿いにあるこの遺跡は、試掘調査で、中世の遺物や縄文土器が出土しています。南川遺跡での調査は下山地区では初の本格的な調査となり、今後の成果が期待されます。

欠下城跡の調査が終了しました



欠下城跡の全景写真です

当センターにて、5月より行っていましたが、新城市矢部の「欠下城跡」の発掘調査が8月に終了しました。今年度の調査では、昨年度の愛知県埋蔵文化財センターによる調査区の東側に隣接する場所を調査しました。

昨年度の調査では、調査区の西側丘陵上に位置する勅養寺との関連をうかがわせる遺構・遺物が出土しましたが、今年度は調査区の多くが急峻な斜面に位置していたこともあり、明確な遺構は見られませんでした。

出土遺物には、破片ばかりで数点ですが、中世後期と思われる土師器の甕、鍋が見られました。中世後期の時代に「欠下城跡」で活動していた人々がいた可能性も考えられます。

関連コンテンツ

- ❖ [愛知県埋蔵文化財調査センター](#)
 - ❖ [総務課](#)
 - ❖ [事業の内容](#)
 - ❖ [利用の案内](#)
 - ❖ [資料管理閲覧室の紹介](#)
 - ❖ [アクセスマップ](#)
 - ❖ [2010年度 発掘調査報告](#)
 - ❖ [2011年度 発掘調査速報](#)
 - ❖ [2011年度 活動報告](#)

お問い合わせ

愛知県 埋蔵文化財調査センター

電話: 0567-67-4164

E-mail: maizobunkazai@pref.aichi.lg.jp

[ページの先頭へ戻る](#)

[県機関の連絡先](#)

[個人情報の取扱い](#)

[Webページ作成方針](#)

[リンク方針](#)

[ネットあいちについて](#)

愛知県

Copyright © 2007-2012, Aichi Prefecture. All rights reserved.